

愛、もしくは別れの夜に

刊行記念講演

世 界中の詩を集めた書籍『愛、もしくは別れの夜に』が刊行されました。さまざまな言語で書かれた珠玉の詩が、名古屋外国語大学の教員たちによって日本語に翻訳されて一冊に詰め込まれ、宝石箱のような本ができあがりました。今回、この詩集の編者ふたりが世界の詩について語り、詩の世界へと誘います。詩は言葉の持つ力が最大限に発揮される究極の言語芸術。言語のあるところ、いつも詩があり、時代を超え、地域を超え、いろいろな文化から紡ぎだされてきました。詩について考え、詩の持つ力を感じてみませんか。

2023年
5/23 火
15:00~16:30

参加無料
要申込
先着順



会場 名古屋外国語大学
日進キャンパス 522教室

受講方法 対面式のみ

定員 40名 (※「世界の文学と文化」を履修している学生の皆様は申込不要です)

対象 どなたでもご参加いただけます

共催 名古屋外国語大学出版会・WLAC

PROFILE

亀山郁夫

名古屋外国語大学学長。ロシア文学・文化論。著書に『甦るフレープニコフ』、『磔のロシアースターリンと芸術家たち』(大佛次郎賞)、『ドストエフスキー 父殺しの文学』、『熱狂とユーフォリア』『謎とき』『悪霊』『シヨスタコヴィチ 引き裂かれた栄光』ほか。翻訳では、ドストエフスキーの五大長編(『罪と罰』『白痴』『悪霊』『未成年』『カラマーゾフの兄弟』)ほか、プラトノフ『土台穴』など。なお、2015年には自身初となる小説『新カラマーゾフの兄弟』を刊行した。

エリス俊子

名古屋外国語大学教授。比較文学・日本近代詩。著書、論文に、『萩原朔太郎一詩のイメージの構成』、『創発的言語態』(共編)、『モダニズムの身体—1910年代~1930年代日本近代詩の展開』、『モダニズムを俯瞰する』、『Struggling with the Contemporary: Japanese Literature after the Modern』(The Cambridge Companion to Japanese Culture)、『Modern Poetry: 1910s to the postwar period』(Cambridge History of Japanese Literature)、『Poetics of the Sea: Japanese Imaginations of the South Ocean』(Pacific Insularity)ほか。

申込方法

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要な事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20230523>



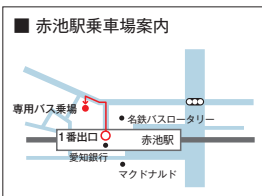
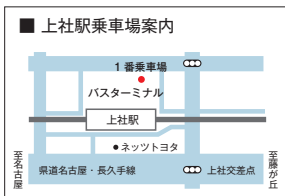
応募締切

5月19日(金) 17:00

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
定員になりましたら締切日前でも募集締切とさせていただきます。

本学へのアクセスについて

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



イベントの開催にあたって

- ◎新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催方法を変更させていただく場合があります。ご来場前に必ず当該イベントのホームページにて開催の有無をご確認ください。
- ◎会場では感染症対策のため、換気を行う場合があります。発熱・咳などの症状のある方は、参加をご遠慮ください。
- ◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

問合せ先

名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
Tel: 0561-75-2164 (直通) mail: wlac_gg@nufs.ac.jp